

米消費拡大事業 母と子の料理教室開く

七月二十八日、消費拡大事業の一貫として、母と子の料理教室が町民会館で行われました。

献立は、お好みちらし、豚肉のロール焼き、わかめサラダ、オレンジゼリーでした。調理台に向かう子供達の手つ

きはぎごちなく、知らず知らずにお母さんの手がお手伝い。二時間半程で出来あがりました。

お母さんと一緒に作った料理は最高の味だったと思います。参加した三十名のみなさんは、日曜日のひと時を和やかなふんい気の中で楽しんでいました。



お母さんと一緒に

故 越川七三さん

勲六等単光旭日賞を受賞

日本国有鉄道職員として勤務さ

れました。

この功績が認められ、栄えある今回の受賞となりました。

地故越川七三さんが、勲六等単光旭日賞を受賞されました。越川さんは、昭和二十三年以來、三十六年もの長きにわたり、



頑張り通した宝米Aチーム



篠原 大木 邦男

◎ 敢闘賞



篠原 竹内 孝和

◎ 打撃賞



宝米 鈴木 等

◎ 最優秀選手賞

八月一日、宝米の大棟梁大神で、五穀豊じょうを願う風祭りが行われました。若連のおはやしや、面の舞に、この日の祭礼に集った人達は、「良くここまで復活させてくれた」と、喜びの拍手を送っていました。

面の舞復活

宝米



二人の息もぴったりと

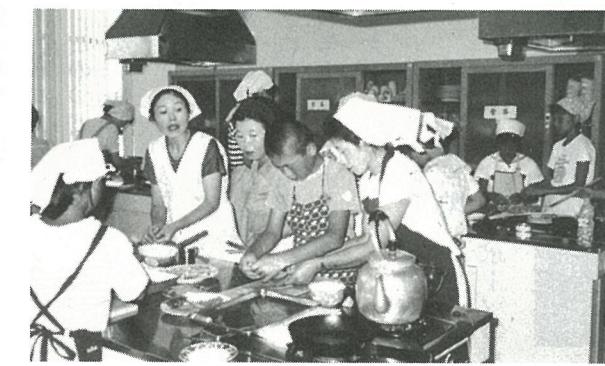


袋もすぐにいっぱい

中学生が奉仕作業

光中学校の生徒達が夏休みの間に「何か人の為になることを」と、それぞれの地区で空缶拾いや、神社・協同館・海岸などの掃除をしてくれました。

朝早くからの作業ながら、みんな手際よくそれぞれの分担を行い、見る間にきれいになりました。みんなの顔が朝の光の中で輝いていました。



八月四日、準決勝、決勝が行われ、五月二十六日から約二ヶ月間に渡って練習が行われてきました。今年は四十七チームの参加があり、比較的天候にも恵まれ、順調な試合運びの内に最終日を迎えることになりました。

決勝は宝米Aチームと篠原チームが対戦、宝米Aチームは打撃戦の末、四度目の優勝を獲得しました。

○ 準決勝	宝米 A	2 対 0	小田部
6 対 2	篠原	4 対 1	西高野